

人への伝え方 ～野生生物問題にあるリスクとコミュニケーション～ 募集要項

野生生物と人との軋轢は、獣害問題、外来種問題、生息地悪化の問題など多岐に及んでおり、解決すべき問題は今後も多様化していく可能性があります。さらに、軋轢が起こっている地域や種、そこに暮らす地域性などが異なることから、問題解決のためのマニュアルを作することは困難です。そのため、その地域の住民や行政、企業、研究教育機関などがそれぞれの立場から問題に取り組み、複合的な視点から解決策を検討していくことが今後より必要になると思われます。しかし、ステークホルダーが増えることで意見の調整や方針の統一が困難になるだけでなく、情報の間違った伝達や誤解を与える発言によって問題解決が円滑に進まない恐れがあります。さらに、正しく伝えさえすれば納得につながるのか、という点も必ずしもそうはいきません。現場と社会をつなぐには、正確な情報や考え方を理解してもらうためのスキルはもちろんのこと、その先の納得につなげるための姿勢とコミュニケーションスキルが必要です。

本講習会では、野生生物対策をテーマに「人に伝える」重要性とその事例について学び、協働による野生生物と人との軋轢の軽減、解消を推進することを目指します。

対 象 者

- ・野生生物問題で地域住民等へ「伝える」ことに悩んでいる行政機関担当者の方
(農林課・環境生活課等の担当者、学芸員、動物園・博物館スタッフなど)
- ・環境系業務で人への伝え方に関心がある方

1. 開 催 日：令和7年1月21日（火）

2. 開催場所：帯広畜産大学 総合研究棟1号館2階E2503室

3. 募集人数：25名（先着）

4. 講 師：北海道大学大学院教育推進機構オープンエデュケーションセンター

科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）

池田 貴子 特任講師

1980年、神奈川県出身。アーバンフォックスの生態とエキノコックスの疫学を専門とし、近年は札幌市内の都市公園と連携して感染症対策や餌付け問題に関する地域対話に取り組んでいる。最近では札幌市のヒグマ管理のリスクコミにも少しだけ参加。動物問題に関するリスクコミュニケーションツールや教材を学生と一緒に開発中。

5. 開催内容：

- 13：30 受付開始
- 14：00 開始、開会挨拶
- 14：05 座学講義「腑に落ちるためのコミュニケーション」
「伝える」と「伝わる」と、「理解」と「納得」の違いについて、
「都市ギツネ」にまつわる問題を取り上げて各ステークホルダー（地域住民や都市公園管理者など）の視点からご紹介します。
- 15：30 休憩
- 15：45 ワークショップ「ボードゲーム ECHINO!を用いた学び」
エキノコックス感染予防対策やギツネとの共生について学べる教材です。
対話を生み出すしかけを用意しており、平時のリスクコミュニケーションツールとしても機能するように設計しています。
- 17：00 閉講

6. CPD 認定： 希望される方には一般社団法人建設コンサルタント協会 CPD 認定プログラム受講証明書を発行します。

7. 受講料： 無料

8. 申込方法： 右の二次元バーコード又は下記URLの申し込み
フォームからお申込み下さい。

URL：<https://forms.gle/LcG4hJAKSWVeM2Z8>

※申し込みフォームからのお申込みができない場合は、
申込書データをお送りいたしますので、下記事務局へご
連絡ください。



9. 募集期間： 令和6年12月9日（月）～令和7年1月10日（金）

10. その他： 受講にあたっての注意事項等は受講決定通知と併せてご連絡いたします。

11. 事務局： 帯広畜産大学 教務課社会人教育係

電話：0155-49-5351 メール：rec_kyoumu@obihiro.ac.jp

【個人情報の取扱いについて】

- (1) 帯広畜産大学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「北海道国立大学機構保有個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。
- (2) 応募時にお知らせいただいた氏名、住所等の個人情報については、受講者選抜、受講に関する連絡等の業務を行うためにのみ利用します。